

～ 地域医療支援病院としての役割を意識して地域医療の連携を深める ～



## さいたま市民医療センターだより



### 副院長 就任のご挨拶

さいたま市民医療センター設立の大きな目的として、さいたま市における小児救急医療の確保があります。新医師臨床研修制度開始に伴い都内大学病院が医師派遣先を縮小する中、東京大学小児科学教室（五十嵐隆教授時代）の支援を得て、派遣された高見澤勝先生以下小児科常勤医師計5名により、さいたま市からの委託を受け365日24時間の小児二次救急医療を立ち上げました。当時はまだ珍しかった地域医療支援病院として地域の医療機関、夜間休日診療所と連携し限られた医療資源を必要な子どもに届ける努力を続けてまいりました。



にしもと はじめ

副院長 小児科部長 西本 創

#### 目次:

西本副院長 挨拶	1
志村事務局長 挨拶	2
情報交換会他 報告	3
新入職医師紹介	4

その間も小児が入院可能な病院は減り続け、夜間休日には市内のみならず県内全域から患者紹介、増え続ける救急搬送依頼を受け入れています。昨年度の小児内因性疾患救急搬送受入数はついに初めて年間3000台を超え、埼玉県で最も多い件数を記録しました。新型コロナウイルス感染症流行期には呼吸不全の成人患者が搬送困難となる事例が報道されましたが、そもそも小児科領域では入院可能な医療機関が普段から少なく、それぞれが持ち場を守るしかありません。私たちは常に受け入れできるよう医師の確保と専門性の確立を目指し努力を続け、小児科後期研修プログラム創設と手厚い医局からの支援により、医師の働き方改革に対応しながら質の高い医療を提供できる体制を構築しています。

また食物アレルギーの診療においては埼玉県における専門医療機関として医師会の先生方と連携し、早くから文部科学省の推奨する学校生活管理指導表に基づいた対応を地域で実現しています。全国的にみても先進的な取り組みですが、実現した理由には日本医師会長となられた松本吉郎先生がアレルギー疾患対策基本法を担当されていたという大きな幸運がありました。

私たちは引き続き救急医療、各種専門医療の充実を目指し、患者・医療従事者双方にとって魅力のある病院であるよう、皆様と連携しながら努力を続ける所存であります。申し遅れましたが2024年2月より副院長を拝命しております。小児科領域以外においても皆様からのご支援をどうかお願い申し上げます。



社会医療法人  
さいたま市民医療センター

〒331-0054  
さいたま市西区島根299-1  
TEL 048 (626) 0011  
FAX 048 (799) 5146  
Web : <http://www.scmc.or.jp/>

## 「安全で良質な医療を提供できる医療機関として」

事務局長 志村 忠信

当センターの近年の取り組みを振り返ってみます。当センターは、地域の医療機関からの紹介と救急患者を積極的に受け入れるとともに、地域の基幹病院としての信頼が得られるよう、日々医療活動に努めています。特に、コロナの流行期、当センターは医療資源が豊富とは言えない中でもコロナの患者さんを積極的に受け入れていく方針を掲げるとともに、救急車の受け入れにおいては、令和元年度5,079台、2年度4,411台、3年度5,406台、4年度6,947台、5年度は過去最高の7,503台を受け入れたところです。



超高齢化社会を迎え、医療を取り巻く環境は常に変化しており、医療ニーズも変容、多様化するなど、当センターもこれらに適切に対応していくことが求められます。そのため当センターの医療機能の強化と、狭隘化している施設面の課題が顕在化していたこともあり、安全でより良い医療の提供と働きやすい環境の両立を見据え、1階北側のピロティを中心に増築を行うとともに、既存箇所の設備改修を行い、令和4年には、将来を見据え血管造影室の新設、感染症等を考慮した救急処置室の拡充、化学療法室の移設を行いました。

市民が適切で質の高い医療を安心して享受するためには、医療を受ける立場からはもちろんのこと、医療を提供する立場からも等しく望まれることが重要です。医療の質の向上を図り、病院の機能を学術的な観点から評価する基準となるものとして、日本医療機能評価機構の「病院機能評価」があります。

当センターも対外的に、また、自己のさらなる改善のために、当該病院機能評価を平成23年に認定取得をいたしました。平成30年3月には3rdG : Ver. 1.1の認定を受けています。更新に当たっては、コロナ禍で特例により1年受審が延期となり、本年3月に3rdG : Ver. 3.0の訪問審査を受審し、はれて認定を受けたところです。認定期間は、2023年3月2日から2028年3月1日の5年間となっております。認定取得に当たって、職員の努力に敬意を表すとともに、理事の皆様をはじめ、医師会の先生方のご理解、ご指導があつてのことと感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後も当センターへのご支援をいただけますよう、お願い申し上げます。



### 基本理念

市民の健康と生命を守るため、地域医療連携の中心的な役割を果たし、安全で良質、かつ高い倫理観を備えたチーム医療の提供に努めます。

### 基本方針

1. 地域医療支援病院として、質の高い信頼の得られる医療の提供
2. 患者の安全と患者背景に基づく個別化医療の提供
3. 地域の他の医療機関と機能分担・連携強化による効率・効果的な医療の提供
4. 災害拠点病院として市民の安全確保に対応した医療の提供



さいたま市4医師会  
さいたま市民医療センター情報交換会 を開催しました。

当センターは医師会員の皆様のご支援・ご理解のおかげをもちまして、去る令和6年3月1日、開院16年目を迎えることができました。

今後、会員の先生方とより一層の連携強化を図り、地域医療の向上に努めてまいります所存です。

当センターの診療活動に更なるご理解とご協力をお願いするべく、大宮パレスホテルにて情報交換会を開催させていただきました。



松本吉郎日本医師会長に  
ご挨拶頂きました。

106名の医師会員の先生方、当センター職員51名の合計157名の参加を頂き、大変盛況な会となりました。



新型コロナウイルス感染症蔓延後、初めての開催となりましたが、顔がみえる連携というのは、非常に大事な機会であることを再認識致しました。蔓延前は2年に1度企画しておりましたので、同様に継続していく所存です。

次回も多くの先生方と交流、情報交換できることを楽しみにしております。



第7回 市民公開講座の報告（令和6年9月開催）

次回の案内は裏面を  
ご覧ください。

**参加無料** **さいたま市民医療センター 第7回市民公開講座**

『心臓を守るために知っておきたい生活の工夫』  
心臓の健康を守るための食事、運動、生活の工夫など、実践的なアドバイスをお届けしたいと思います。是非ご参加ください。

日程 2024年9月21日（土）  
時間 15時～16時  
会場 さいたま市民医療センター2階 大会議室  
埼玉県さいたま市桜区長瀬299-1

講師 副院長 松本 健志 医師  
循環器科 中村 智弘 医師  
日本循環器学会専門医

申込方法  
①ホームページ(さいたま市民医療センター市民公開講座へ)  
②お電話のQRコード  
③電話にて申し込み(下記要項)  
いづれより申し込み可能です。  
※月1日(土)より受付開始しますので、遅くとも前週の日曜日までにお申し込みください。  
※感染症によりは延期または中止になることがあります。ご理解の程よろしくお願いたします。

お問い合わせ先  
さいたま市民医療センター  
TEL: 048-828-0011 (直通線) | URL: https://www.sichc.or.jp/

66名の市民や職員が参加しました。  
講演の合間に身体を動かして頂いたりもしています。  
ご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非、ご案内をお願いします。



ホームページより講座内容をご覧ください